

発達障害児（者）への継続的支援の為に「（仮称）パーソナルノート」の活用を

質問者 下野 義子

発達障害児（者）にとっては、乳幼児期から学齢期、就労期まで、福祉・保健・教育・就労などの関係機関の連携と個別のニーズにあった支援が継続的になされる事が大切である。それぞれの時期に携わる支援者が、適切な支援に繋げていけるよう、ライフステージごとに蓄積されたその人の情報を共有できるツールとして「（仮称）パーソナルノート」を1人に1冊作成し、活用すべきと考える。町長、教育長の所見を伺う。